

安全データシート

ページ: 1/15

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 06. 2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024

1. 化学品及び会社情報

品名:

Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

用途: 高分子製造用モノマー

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

急性毒性: 区分4 (経口)

急性毒性: 区分4 (経皮)

皮膚腐食性: 区分1B

眼に対する重篤な損傷: 区分1

皮膚感作性: 区分1

水生環境有害性 短期(急性): 区分3

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 06. 2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H314	重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H302 + H312	飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有害。
H402	水生生物に有害。

注意書き（安全対策）:

P280	保護手袋と保護衣と保護眼鏡または保護面を着用すること。
P260	粉じん/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。
P273	環境への放出を避けること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P310	直ちに医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P303 + P361 + P353	皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて取り除くか脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗い流すこと。
P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P361 + P364	汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き（保管）:

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。
------	---

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

急性毒性に関して未知の有害性を持つ成分の混合割合：80 - 100 %，経口，経皮，吸入－ミスト，吸入－蒸気 水生環境へ未知の有害性を持つ成分が記載の割合の混合物：80 - 100 %

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 06. 2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

アクリル系ポリマー

GHS分類に寄与する成分

2-ヒドロキシエチル=アクリラート

含有量 (W/W): $\geq 7\%$ - $\leq 15\%$

CAS番号: 818-61-1

化審法: (2)-958

労働安全衛生法: (2)-958

急性毒性: 区分 4 (経口)

急性毒性: 区分 4 (経皮)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1B

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

皮膚感作性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

ϵ -カプロラクトン

含有量 (W/W): $\geq 1\%$ - $\leq 5\%$

CAS番号: 502-44-3

化審法: (5)-1091

労働安全衛生法: (5)-1091

急性毒性: 区分 5 (経口)

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き換える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。直ちにコルチコステロイドエアゾール製剤を吸入すること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水で十分に洗い流した後無菌包帯を巻き、医師の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

嘔吐を生じさせないようにする。直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医師の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 06. 2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

危険有害事項: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。肺水腫を防ぐためにコルチコステロイドエアゾール製剤を投与すること。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 耐アルコール性泡, 粉末, 二酸化炭素

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

容器が過熱されると激しい自己重合を起こす。容器を噴霧水で冷却する。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用すること。

[追加情報]:

この製品は、高温で自然に重合する可能性がある。重合は、発熱反応であり、容器に損傷を与え、熱分解性生物を放出する可能性がある。もしも燃焼したら、有毒なガス/蒸気が発生する可能性がある。火に暴露された場合は、噴霧水によって容器を冷却する。

[追加情報]:

近くで火災が発生した場合、バルク貯蔵タンク内の温度が45° Cに達した場合は、再安定化システムを使用する必要がある。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

適切な保護対策をとること。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。呼吸保護具を着用すること。保護具を着用する。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。容器に汚染水/消火用水を取り集める。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 適切な吸着剤に吸着させる。

大量の場合: ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。

[追加情報]: 漏出/流出により床が滑りやすくなるので注意する。

物質/製品の放出は火災又は爆発を引き起こすことがある。漏出の原因を遮断又は停止させる。物質/製品の漏出は安全な条件下で遮断又は停止させること。

廃棄する為には固く閉めた容器に詰める。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。本品は、訓練を受けた者のみ取り扱うことができる。危険な反応を避けるために、定期的にポリマーの残留物に関する設備点検と清掃を行う。

作業場の換気を十分に行う。容器封入もしくは排気が必要。容器を充填、入れ換え又は空にする際には作業場を十分に換気する。適切なセパレーターを通してのみ、廃空気を大気に放出する。密閉状態とコネクターのネジ山をチェックする。温まった又は膨張した製品容器を開けないこと。周囲の人間を安全な場所に移動させて消防署に連絡すること。

回避すべき温度を考慮に入れる必要がある。加熱を避ける。直射日光を避ける。製品を光に当てない。

十分な阻害剤及び溶解酸素レベルを確保すること。

安全取扱注意事項:

運搬機器にはアースをし、静電気防止措置をとる。静電気が帯電しないように容器にアースをすること。あらゆる機械類の導電部にアースをすることが望ましい。

容器が加熱された場合、重合を避けるために冷却すること。火に暴露された場合は、噴霧水によって容器を冷却する。近隣火災の可能性に備えて緊急冷却措置を施す必要がある。密閉容器は熱に暴露されると内圧が高まるため、加熱を避ける。熱の影響を避けること。

[保管]

酸化剤から離して保管する。還元剤と隔離すること。

保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。直射日光を避けること。容器を乾燥して保管すること。容器を密閉して冷所で保管すること。元の容器でのみ保管すること。周囲の酸素濃度を5-21%に保つ。

紫外線及びその他の高エネルギー放射線を避けること。安定剤は酸素存在下でのみ有効。周囲の酸素濃度を5-21%に保つ。

バルク保管の場合、保管タンクには少なくとも2つの高温アラート装置が装備されている必要がある。たとえ製品を定められように貯蔵と取扱いを行っても、定められた期間内に使い切るようにする。

保管安定性:

保管温度: ≤ 35 °C

所定の保管温度に留意すること。

長期保管を避けること。

この製品は可能な限り速やかに処理すること。

本製品は安定化しているが、保管期間に留意すること。

十分な阻害剤及び溶解酸素レベルを確保すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

2-ヒドロキシエチル=アクリラート, 818-61-1;

(日本産業衛生学会 許容濃度)

本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：有機化合物（沸点65°C以上）のガス／蒸気用ガスフィルター-EN 14387 A型

[手の保護具]:

長時間の直接接触でも問題ない素材（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること。）：

フッ素ゴム（FKM）、肉厚0.7 mm

ニトリルゴム（NBR）、肉厚0.4 mm

補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりもかなり短いと考えなければならない。

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

[眼の保護具]:

密着性安全ゴーグル（飛沫よけ型ゴーグル）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。吸入を避けること。所定の保護具に加えて、上下一体型作業衣の着用が必要である。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態: 液体
色: 淡黄色
臭い: アクリル臭
臭いのしきい値: 測定されていない。

pH: 4 (社内試験法)

融点:	< 10 ° C 本記述は、各成分の特性に基づくものである。
沸点:	> 180 ° C 本記述は、各成分の特性に基づくものである。
引火点:	> 120.0 ° C (ASTM D93)
蒸発率:	値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気圧から類推することができる。
可燃性 (固体/ガス):	発火性低い。
爆発下限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。
爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。
自然発火温度:	測定されていない。
熱分解:	推奨保管温度を超える長期間の逸脱が発生するならば、反応抑制剤の減少率が加速する可能性があり、重合のリスクを増大を引き起こす。このような環境では、ASTM procedure D 3124 を用いて定期的に反応抑制剤のレベルを確認することを推奨する。もしも、減少が確認されたら、さらなる反应用抑制剤の追加を推奨する。
自己発火性:	高引火点による自己発火の低リスクのため、値は、決定されていない。
自己発熱性:	該当しない、製品は液体である。
SADT:	GHSによれば、自己分解し易い物質/混合物ではない。
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。
火災を引き起こす性質:	構造的長長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。
蒸気圧:	約 0.1 - 0.8 hPa (約 20 ° C) 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。
密度:	1.0968 g/cm ³ (ISO 2811-3) (20 ° C)

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24.06.2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024

相対密度:	1.0722 g/cm ³ (50 ° C)	(ISO 2811-3)
相対ガス密度 (空気):	1.0968 (20 ° C)	(推定値)
	> 1 (20 ° C)	
	空気より重い。	
水に対する溶解性:	測定されていない。	
溶解度 (定性的):	適用情報なし	
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	混合物には適用されない	
動粘性率:	39.00 mm ² /s (40 ° C)	(ASTM D445)

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

加熱を避けること。阻害剤の消失を避けること。反応抑制剤の活性の維持のために、製品上部の空気から酸素を除去しないこと。

熱分解:

推奨保管温度を超える長期間の逸脱が発生するなら、反応抑制剤の減少率が加速する可能性があり、重合のリスクを増大を引き起こす。このような環境では、ASTM procedure D 3124 を用いて定期的に反応抑制剤のレベルを確認することを推奨する。もしも、減少が確認されたら、さらなる反应用抑制剤の追加を推奨する。

[混触危険物質]:

酸化剤, 還元剤

ラジカル発生物

金属の腐食:

金属に対する腐食性はないと予測される。

[危険有害な分解生成物]:

酸化剤と反応する。還元剤と反応する。

通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

阻害されない限り、容易に重合する。重合は非常に発熱し、制御しないと激しくなる可能性がある。さらに、保管中の定期的な空気分散は、長期的な安定性を助長する。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性毒性の評価

単回摂取後、中程度の毒性を示す。短時間の皮膚接触後、穏やかな毒性。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 2-ヒドロキシエチル=アクリラート

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): 540 mg/kg (その他)

記載物質に関する情報： ε-カプロラクトン

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 2,000 mg/kg (EU指令92/69/EEC, B.1)

記載物質に関する情報： 2-ヒドロキシエチル=アクリラート

急性皮膚毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 1,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

記載物質に関する情報： ε-カプロラクトン

急性皮膚毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ウサギ (経皮): 5,990 mg/kg

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

急性毒性に関して未知の有害性を持つ成分の混合割合： 80 - 100 %, 経口, 経皮, 吸入-ミスト, 吸入-蒸気

刺激性

刺激性作用の評価:

腐食性。皮膚及び目を損傷する。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 06. 2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024

記載物質に関する情報 : 2-ヒドロキシエチル=アクリラート
実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性/刺激性 ウサギ: 腐食性 (BASF試験)

記載物質に関する情報 : 2-ヒドロキシエチル=アクリラート
実験または計算によるデータ:
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ: 回復不可能な損傷 (BASF試験)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
皮膚接触により感作の可能性がある。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報 : 2-ヒドロキシエチル=アクリラート
実験または計算によるデータ:
マウスの局所リンパ節試験 (LLNA) マウス: 皮膚感作

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報 : 2-ヒドロキシエチル=アクリラート
変異原性の評価:
細菌類に対して変異原性を示さなかった。この物質はいくつかの培養細胞試験系において変異原性を示したが、これらの結果は哺乳動物を用いた試験では確認できなかった。この製品は、完全には試験が行われていない。これらの記述は、類似の構造もしくは、類似の組成の製品から得られたものである。

発がん性

発がん性の評価:
成分に基づき、人に於いての発癌効果の疑いはない。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
成分に基づき、生殖毒性効果の疑いはない。

発生毒性

催奇形性の評価:
成分に基づき、催奇形性効果の疑いはない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

本品の毒性は、その腐食性に基づいている。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 2-ヒドロキシエチル=アクリラート

反復投与毒性の評価:

反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

誤えん有害性

適用せず

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対し急性の有害性がある。

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 2-ヒドロキシエチル=アクリラート

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）(96 h) 4.8 mg/l, ファットヘッドミノー（学名：）Pimephales（魚急性試験, 流水式）

記載物質に関する情報： 2-ヒドロキシエチル=アクリラート

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 9.3 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna）(OECDテストガイドライン 202-1, 流水式)

記載物質に関する情報： 2-ヒドロキシエチル=アクリラート

水生植物:

EC50 (96 h) 6 mg/l (成長率), 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24.06.2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024

記載物質に関する情報: 2-ヒドロキシエチル=アクリラート
微生物/活性汚泥への影響:
EC10 (10%影響濃度) (72 h) > 100 mg/l, 家庭廃水由来の活性汚泥 (その他, 好気性)

記載物質に関する情報: 2-ヒドロキシエチル=アクリラート
水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
無影響濃度 (21 日), 0.86 mg/l, オオミジンコ (学名: Daphnia magna) (OECDテストガイドライン 211, 流水式)

水生環境へ未知の有害性を持つ成分が記載の割合の混合物: 80 - 100 %

移動性

環境区分間の輸送評価:
固形土壌相への吸着が可能である。
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):
製品は部分的に生分解性である。かなりの残留物が残る。製品中のポリマーは、難分解性である。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-ヒドロキシエチル=アクリラート

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
本品の安定性と水に対する不溶性のため、生物への悪影響は考えにくい。生物への著しい蓄積はないと考えられる。
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-ヒドロキシエチル=アクリラート
生体蓄積性の可能性評価:
n-オクタノール/水の分配係数 (log Pow) より、生体への濃縮性はないと考えられる。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:
前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の条例を遵守し、適切なごみ焼却施設で焼却すること。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 06. 2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024

[汚染された容器]:

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

正式な規則にしたがって廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号: UN 3265

品名 (国連輸送名): 腐食性液体 (酸性、有機物) (他に品名が明示されているものを除く。)
(2-HYDROXYETHYL ACRYLATE, INHIBITED)

国連分類 (輸送における危 8

険有害性クラス):

容器等級: II

環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項: 知見なし

海上輸送

IMDG

国連番号もしくはID番 号: UN 3265

品名 (国連輸送名): 腐食性液体 (酸性、有機物) (他に品名が明示されているものを除く。)
(2-HYDROXYETHYL ACRYLATE, INHIBITED)

国連分類 (輸送における 8

危険有害性クラス):

容器等級: II

環境有害性: 非該当
海洋汚染物質: 非該当

使用者への特別注意事項: EmS: F-A; S-B

Sea transport

IMDG

UN number or ID number: UN 3265

UN proper shipping name: CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, ORGANIC, N.O.S. (2-HYDROXYETHYL ACRYLATE, INHIBITED)

Transport hazard class(es): 8

Packing group: II

Environmental hazards: no
Marine pollutant: NO

Special precautions for user: EmS: F-A; S-B

航空輸送

IATA/ICAO

国連番号もしくはID番 号: UN 3265

品名 (国連輸送名): 腐食性液体 (酸性、有機物) (他に品名が明示されているものを除く。)

Air transport

IATA/ICAO

UN number or ID number: UN 3265

UN proper shipping name: CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, ORGANIC, N.O.S. (2-HYDROXYETHYL ACRYLATE,

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 06. 2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024

	(2-HYDROXYETHYL ACRYLATE, INHIBITED)		INHIBITED)
国連分類（輸送における 危険有害性クラス）:	8	Transport hazard class(es):	8
容器等級:	II	Packing group:	II
環境有害性:	環境に対する有害性 の表示は必要ない	Environmental hazards:	No Mark as dangerous for the environment is needed
使用者への特別注意事 項:	知見なし	Special precautions for user:	None known
指針番号:	153		

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 非水溶性

毒物劇物取締法:

2-ヒドロキシエチル=アクリラート

10 %

医薬用外毒物, 毒物及び劇物指定令第1条毒物

2-ヒドロキシエチル=アクリラート

労働安全衛生法

変異原性物質 (既存)

化学物質名又は元素名	化学物質排出把握管理促進法 (2023年4月1日以降)		
	含有量 (%)	分類, 管理番号	政令名称
2-ヒドロキシエチル=アクリラート	10	第2種指定化学 物質, 6	アクリル酸 2-ヒ ドロキシエチル

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 06. 2024

製品: Hydroxyethylcaprolactone Acrylate (HECLA)

バージョン: 6.0

(30535338/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 25.06.2024

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。